名前（　　）　日付　　月　　日

地理 自然災害 防災

問 1　地震のしくみと揺れ

一問一答　次の問いに答えなさい。

問題	解答欄
(1)　地球の表面を覆い、少しずつ動いている、厚い岩盤の板を何というか。	
(2)　地震が発生した地下の場所を何というか。	
(3)　震源の真上に当たる地表の地点を何というか。	
(4)　ある場所での地震の揺れの強さを表す尺度は何か。	
(5)　地震そのものの規模を表し、M で示される尺度は何か。	
(6)　地下水を多く含む砂地盤が、地震で液体のようになる現象は何か。	

記述　理由やつながりを考えて書きなさい。

日本で地震が多く発生する理由を、プレートの境界と岩盤にかかる力に着目して説明しなさい。

名前（　　）　日付　　月　　日

地理 自然災害 防災

問 2　津波と火山の災害

一問一答　次の問いに答えなさい。

問題	解答欄
(1)　海底の急な変動などで海水が大きく動き、沿岸へ押し寄せる波は何か。	
(2)　おおむね過去 1 万年以内の噴火や、現在の活発な噴気活動が確認される火山は何か。	
(3)　火口などから火山灰や溶岩、ガスなどが噴き出す現象は何か。	
(4)　噴火で放出される、細かく砕けた岩石などの粒を何というか。	
(5)　高温の火山灰や岩石などが、火山ガスと一体になって斜面を速く流れ下る現象は何か。	
(6)　地表へ出たマグマが、液体のまま流れ下る現象は何か。	

記述　理由やつながりを考えて書きなさい。

海の近くで強い揺れや、弱くても長く続く揺れを感じたとき、津波警報を待たずに避難を始める必要があるのはなぜか。津波の到達時間に着目して説明しなさい。

名前（　　）　日付　　月　　日

地理 自然災害 防災

問 3　大雨や台風と土砂災害

一問一答　次の問いに答えなさい。

問題	解答欄
(1)　大雨などで川の水が大きく増え、川からあふれる被害も起こす現象は何か。	
(2)　雨水の排水が追い付かず、川からの水でなく、街中などに水がたまる現象は何か。	
(3)　台風などによる低い気圧や強風で海面が高くなり、浸水などを起こす現象は何か。	
(4)　大量の土砂や石が、水と一緒に谷などを一気に流れ下る現象は何か。	
(5)　地下水の影響などで、斜面の土のかたまりが広い範囲で滑り動く現象は何か。	
(6)　雨や地震などによって、急な斜面の土や岩が突然崩れ落ちる現象は何か。	

記述　理由やつながりを考えて書きなさい。

都市では、短時間の大雨で内水氾濫が起こることがある。その理由を、地面の舗装と排水の能力に着目して説明しなさい。

名前（　　）　日付　　月　　日

地理 自然災害 防災

問 4　災害を防ぎ被害を減らす工夫

一問一答　次の問いに答えなさい。

問題	解答欄
(1)　災害による被害を防ぐための取組を、一般に何というか。	
(2)　被害を完全には防げない場合も考え、できるだけ小さくする取組は何か。	
(3)　災害の危険が予想される場所や避難先などを示した地図は何か。	
(4)　川の水が周囲へあふれるのを防ぐため、川沿いに設ける施設は何か。	
(5)　高潮や津波などの被害を防ぎ、軽減するため、海岸などに設ける堤は何か。	
(6)　山地の谷などに設け、流れ下る土砂の量や勢いを抑える施設は何か。	

記述　理由やつながりを考えて書きなさい。

ハザードマップで色が付いていない場所でも、災害の危険が全くないとは言い切れない。それはなぜか。想定の条件に着目して説明しなさい。

名前（　　）　日付　　月　　日

地理 自然災害 防災

問 5　自分と地域を守る備え

一問一答　次の問いに答えなさい。

問題	解答欄
(1)　家具の固定や水の準備など、自分や家族の命を自ら守る取組は何か。	
(2)　近所で声を掛け合うなど、地域の人々が互いに助け合う取組は何か。	
(3)　国や自治体などが行う救助や避難所の運営支援などの取組は何か。	
(4)　命を守るために緊急的に逃げる先として、災害の種類ごとに指定される場所は何か。	
(5)　避難してきた人などが一定期間滞在するため、市町村が指定する施設は何か。	
(6)　災害に備えて、水や食料、日用品などをあらかじめ蓄えておくことは何か。	

記述　理由やつながりを考えて書きなさい。

災害が起こる前に、家族で避難先や連絡方法を決めておくのはなぜか。災害時の移動や通信の混乱に着目して説明しなさい。

地理 自然災害 防災の解答

記述は解答例です。同じ内容が表されていれば、表現が異なっても正解とします。

問 1　地震のしくみと揺れ

(1) プレート　(2) 震源　(3) 震央
(4) 震度　(5) マグニチュード　(6) 液状化現象

記述例　日本付近には複数のプレートの境界があり、動きによって岩盤に力が加わり、ずれ動く地震が起こりやすいため。

採点のポイント　プレートの境界と、岩盤にかかる力やずれを結び付けている。

補足　震度は場所によって異なる。液状化は埋立地や昔の川の跡などの砂地盤で起こりやすい。

問 2　津波と火山の災害

(1) 津波　(2) 活火山　(3) 噴火
(4) 火山灰　(5) 火砕流　(6) 溶岩流

記述例　震源が近いと、津波警報が届く前に津波が来ることがあるため、海辺から離れ、より高い安全な場所へ速やかに避難する必要があるから。

採点のポイント　津波警報より先に津波が到達する場合があることを説明している。

補足　津波は繰り返し来る。警報・注意報が解除されるまで避難を続ける。

問 3　大雨や台風と土砂災害

(1) 洪水　(2) 内水氾濫　(3) 高潮
(4) 土石流　(5) 地すべり　(6) がけ崩れ

記述例　舗装で雨水が地面にしみ込みにくく、短時間に排水路などへ集まり、排水できる量を超えることがあるため。

採点のポイント　雨水のしみ込みにくさと、排水能力を超えることを結び付けている。

補足　土砂災害は山地や斜面、浸水は低地など、地形によって注意する災害が異なる。

問 4　災害を防ぎ被害を減らす工夫

(1) 防災　(2) 減災　(3) ハザードマップ
(4) 堤防　(5) 防潮堤　(6) 砂防ダム

記述例　地図は一定の雨量などの条件で想定したもので、想定を超える雨や、地図が対象としていない災害が起こる場合もあるため。

採点のポイント　想定する条件や災害の種類には範囲があることを説明している。

補足　地図の対象と想定条件を確認する。施設の整備と、情報の確認や避難への備えを組み合わせる。

問 5　自分と地域を守る備え

(1) 自助　(2) 共助　(3) 公助
(4) 指定緊急避難場所　(5) 指定避難所　(6) 備蓄

記述例　災害時は道路や通信が使いにくくなり、離れた家族とすぐ相談できない場合があるため、迷わず安全に行動できるようにするため。

採点のポイント　道路や通信の混乱を、事前に避難先や連絡方法を決める必要性と結び付けている。

補足　避難先が、その災害に対応しているかを確認する。避難場所と避難所は兼ねる場合もある。